

6 回生 南里悠介さん



(唐津市出身)



臨床は**地域**に、研究は**世界**に！

共感と敬意、感謝の心を常に…

学生時代

はじめまして。6 回生の南里（なんり）と申します。高校時代は勉強に、バレーボール部に、そして生徒会長として生徒会活動に励んでいました。今は無きスペースワールドでの、念願の高校生クイズ大会に出場できたこともいい思い出です。

私は佐賀大学医学部に入学後、18 歳のとき父を神経難病で亡くしたため、学生時代のチューターであり神経内科教授であられた黒田康夫先生のもと神経内科の勉強に励みました。黒田先生を団長とした第 1 回ハワイ大学留学にも推薦いただき、米国での PBL を用いた医学教育（問題基盤型学習・小人数グループ制の教育）を体験し、のちに佐賀大が国立初となる PBL 導入に際しては教授陣を前にしての模擬授業の実演などに従事させていただきました。大学時代は試験対策プリント（「南プリ」）作成とともに、ヨットや合唱などの部活にも励みました。学生時代に切磋琢磨した仲間は、私の生涯の宝となっています。

患者さんの笑顔のために…

研修医以降、内科全般、神経内科全般の診療に従事し、2005 年には国立精神・神経センター免疫研究部の佐藤準一先生の御指導のもと、多発性硬化症の遺伝子解析などに関する臨床研究に従事しました。2006 年に佐賀大に戻ってからは rt-PA などの脳梗塞超急性期治療や神経難病、認知症の患者さんの診療にあたり、原英夫先生の御指導のもと、各種専門医を取得させていただきました。2011 年からは浅見豊子先生のもと脳血管リハなど各種リハビリや、全国初のロボットリハ外来での診療にも取り組み、リハ専門医も取得させていただきました。

現在は JCHO 佐賀中部病院にて脳卒中急性期リハに取り組むとともに、2019 年からは TOYOTA ウェルウォークを用いて、全国でも初となる脳卒中急性期→回復期のロボットリハビリテーションの地域連携もすすめて参ります。

また私は俳句が趣味で伊藤園のおいしいお茶にも数回載せていただいています（妻編みしマフラー巻きてペダルこぐ、など）。将来は俳句や音楽、絵画や陶芸など芸術を用いた芸術リハにも取り組んでいきたいと思っています。

- 1992 年 4 月 弘学館高等学校入学
- 1995 年 3 月 弘学館高等学校卒業
- 2001 年 3 月 佐賀大学医学部卒業
- 2001 年 6 月 佐賀大学医学部附属病院勤務
- 2003 年 6 月 唐津赤十字病院（内科）
- 2004 年 6 月 佐賀大学医学部附属病院
- 2005 年 6 月 国立精神・神経センター
- 2006 年 4 月 佐賀大学医学部附属病院
- 2018 年 4 月 JCHO 佐賀中部病院
脳神経内科・リハビリテーション科 部長
- （資格）2007 年 内科認定医 2009 年 神経専門医
- 2011 年 脳卒中専門医 2013 年 医学博士号
- 2015 年 リハビリ科専門医

(2019 年 1 月現在)



6 回生キャリアガイダンスにて

(左端が筆者)

南里悠介さんのとある一日

- 8 : 00 出勤、メールチェックなど
- 8 : 30 病棟回診
- 9 : 00 外来・入院対応
- 12 : 30 病院レストラン Jiji で昼食
- 13 : 30 もの忘れ外来、午後の診療
- 17 : 00 脳卒中カンファレンス
- 19 : 00 帰宅



後輩へのメッセージ 弘学館の寮生活で育んだ「計画性」を重視した勉強習慣は、医師国家試験や専門医取得などでも多いに役立ち、弘学館での日々は人生の根となり幹となっています。また弘学館 OBOG が沢山入部してくれているヨット部顧問時代「チーム医療を行うにあたり、他者に対する共感と敬意、感謝の心を忘れずに」とも伝えてきました。努力に勝る天才なし、自分を信じてみなさん、夢に向かってしっかり頑張ってください！前途洋々なみなさんに、最後に父の句を送ります。～中学になる子と春の岬まで～